

まちのくすりやさん 第5号

今回のおはなし

● インフルエンザについて

● ギャ・タバコ「千葉！タクシー全面禁煙」

● Q&A



～インフルエンザについて～

普通のかぜの症状は、のどの痛み、鼻汁、くしゃみや咳(せき)などが中心で、全身症状はあまり見られません。発熱もインフルエンザほど高くなく、重症化することはほとんどありません。一方、インフルエンザの場合は38度以上の発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛など全身の症状が強く、あわせて普通のかぜと同様の、のどの痛み、鼻汁などの症状も見られます。さらに、気管支炎、肺炎、小児では中耳炎、熱性けいれんなどを併発し、重症化することがあるのもインフルエンザの特徴です。

現在、日本で行われているインフルエンザワクチン接種に使用するインフルエンザHAワクチンについては、平成12年7月から薬事法上の用法・用量が以下になりました。

年齢群	接種用量・方法	接種間隔・回数
13歳以上	0.5mlを皮下	1回又はおよそ1～4週間の間隔をおいて2回接種
6歳～13歳未満	0.3mlを皮下	およそ1～4週間の間隔をおいて2回接種
1歳～6歳未満	0.2mlを皮下	およそ1～4週間の間隔をおいて2回接種
1歳未満	0.1mlを皮下	およそ1～4週間の間隔をおいて2回接種

ただし、65歳以上の高齢者に対しては1回の接種でも効果があり、2回接種による免疫の強化に関する効果についての評価は定まっていませんので、現在は1回接種が推奨されています。

インフルエンザに罹っているときには使用を避けなければならない薬があります。代表的なものが、アスピリンなどのサリチル酸解熱鎮痛薬、ジクロフェナクナトリウム(ボルタレン)、メフェナム酸(ポンタール)です。別の人に処方された薬はもちろん、当人用のものであっても別の受診時に処方されて使い残したものを使用することは避けるべきです。また、市販の解熱鎮痛薬の一部にはアスピリンなどのサリチル酸系の解熱鎮痛成分を含んだものもありますので、

自己判断せずに

かかりつけ薬局にお気軽にご相談下さい!!

東京湾岸に“禁煙環状帯” 千葉県でもタクシー禁煙へ

千葉県の法人、個人の両タクシー協会は29日、協会加盟のすべてのタクシー約7600台を11月から全面禁煙にすると発表した。神奈川県は7月に先行、来年1月には東京都の法人タクシーでも始まる予定。タクシーは1都2県間を行き来することが多く、東京湾岸に“禁煙環状帯”が誕生することになる。

法人タクシーの全国組織「全国乗用自動車連合会」によると、都道府県単位の禁煙は、神奈川のほか、長野、大分、静岡で既に始まっており、山梨、富山、岐阜、愛知でも導入が決まっている。自治体レベルでみると、全国で10番目。

千葉県の法人タクシーが加盟する県タクシー協会では、受動喫煙防止の努力義務を課した健康増進法施行などを受けた対策。

(2007年8月29日 共同通信記事)



Q&A

Q:アスピリンはピリン系ではないのですか？

解熱、鎮痛の目的で用いられるお薬の中にピラゾロンといわれる一群のお薬があります。このピラゾロンを略してピリンといいます。同じ目的で用いられるお薬にアスピリンがありますが、化学名をアセチルサリチル酸といい、ピリンとは違います。

ピリンには、アンチピリン、アミノピリン、スルピリン、ピラビタール等があります。

ピリンは、解熱剤、鎮痛剤、感冒剤に含まれ古くから使用されているものですが、まれに発疹等の副作用の起こることがあります。しかし、ピリンを含むお薬であっても、使用上の注意等を守って使用する場合は安心して使用できます。

一言メッセージ “1人1人のお薬手帳をお持ちですか？”

「お薬手帳」は、今まで服用したお薬の名前や量などを継続的に記録するためのとても大切な手帳です。常時お持ち下さい。

尚、お持ちでない方は、かかりつけ薬局の薬剤師にお話下さい。



ご意見、ご質問、ご感想など、お気軽にお寄せ下さい。

(社) 浦安市薬剤師会 〒279-0004 浦安市猫実1-2-5 健康センター内

Tel 047-355-6812 (月～金：10～15時)

Fax 047-355-6810

メールアドレス yakuura@violin.ocn.ne.jp